

# 平成25年度事業評価報告書（施設名 県立甫喜ヶ峰森林公園）

項目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 運営に関する評価	①ローテーション勤務により、常に2人以上の勤務体制を確立している。また多くのスタッフを必要とする事業の際は、山林協会本部から応援職員が業務支援を行っている。 ②施設内が適正に管理され、利用者の事故を未然に防ぐ安全確保ができています。 ③地震避難訓練や救急救命講習を実施しており、災害対策への対応が図られている。	①キャンプ場の利用が増加しており、温水シャワーなどの整備が望まれる。 ②トイレの数や水洗化されていないことに起因する利用者減に対して、将来的な改善策と現実的な対応についての協議が必要である。
2 事業実施に関する評価	①甫喜ヶ峰に生息する動植物に関する事業を企画・実施し、身近な森林公園の新たな価値・魅力を発信している。 ②協力団体やボランティアなどと連携を図り、事業展開を行っている。	①専門研修を受けるなど職員のスキルアップを図り、森林環境学習など学校と連携したプログラムを提案するなど積極的なアプローチが望まれる。
3 利用実績	①専門誌への掲載や口コミ等の影響でキャンプ場利用者（県外）が増加している。 ②企画展を常時開催したこと等により、学習展示館の利用者が増加している。	①入園者減、学校利用の増減などについて分析と対策が望まれる。
4 収支の状況	業務の効率化と経費の節減に努め、前年度より73万円経費削減した。 (H24 19,819千円 H25 19,089千円)	
総合評価	<b>B</b>	①限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。 ②学校の公園利用が少なく、流動的（毎年のように継続して利用してもらえていない状況）であることから、森林環境学習プログラムの提案など積極的なアプローチが望まれる。 ③施設の弱点や課題をどう分析し、今後の運営にどう活かしていくかを協議し、森林公園の役割を考えた施設利用促進につながる取組みが望まれる。

- 【評価の基準】 A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

## 業務の改善についての意見

改善を求める事項
①学校による公園利用が少なく、また流動的（毎年のように継続して利用してもらえていない状況）であることから、森林環境学習プログラムの提案など積極的なアプローチが望まれる。 ②施設の弱点や課題をどう分析し、今後の運営に活かしていくかを協議し、森林公園の役割を考えた施設利用促進につながる取組みが望まれる。
今後、充実させて取り組むべき事項
施設の利用促進を図るための、利用目的の具体的分析と積極的なアプローチ。